

選手団の食と住をサポート

もてなしの気持ちで選手団を支える人びと

開会がせまる秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の開催中、選手団は市内のホテルや旅館等に宿泊することになります。選手たちの体調管理や調整はスポーツ競技においては重要な要素であります。

「全国大会の大舞台に賭ける選手たちの熱い思いに応えよう」と選手団の「食と住」をサポートする、宿泊施設の方々のもてなしの気持ちをリポーターが紹介します。



国体特集
リポートvol.2

白滝旅館（象潟町小滝）

せっかく鳥海山の麓まで来てくださるので、選手の皆さんのが健康で、持っている力を普段どおり発揮できるように支えたいです。

自慢の山菜料理はもちろん、地元の特徴を生かした料理を出して、普段どおりのおもてなしをするだけです。少し残念なことは、新鮮な地元でとれたての魚を生で食べていただけないことです。今回の訪問でこの土地を好きになっていただきて、またゆっくりと来ていただけることを期待します。その時には、新鮮なおいしいお刺身を食べさせてあげたいですね。

46年前の「まごころ国体」では従業員一同が象潟小唄の踊りを練習していたところ、結局お客様には披露できなかったというような話も聞いています。さまざまな思い出も作れるのではないかと楽しみにしています。選手の皆さんに時間があれば、奈曾の白滝を案内してみたいと思います。

今回の国体でも、おもてなしの心を忘れずに、全国からお出でになる皆さんに気持ちよく宿泊していただきたいと思って、メニューの工夫を少しずつ考えています。

(取材撮影：佐藤)



白滝旅館
女将の齋藤栄子さん

選手のみんな
がんばれ～



コテージ潮さい（象潟町字荒屋下）

液晶テレビ、洗浄器付きトイレを設置し、肩ひじを張らず、自由で気ままに快適に過ごしていただきたいと思います。当然、地元の食材を利用したいですね。

時期的に、残暑が想定されるので電解水生成機を導入するなど衛生面は非常に気を使っています。この土地のPRもしたいと思います。

(取材：本間)

松ぼっくり炭入りお手玉をプレゼント！

象潟旅館業組合女将の会では、さんとらっぷで製作したお手玉（写真下）を期間中、宿泊客にプレゼントします。中には松ぼっくりの炭が入っていて、消臭効果があります。

(取材撮影：本間)



齋藤旅館

（金浦字南金浦）

自分の家に「ただいま～」と帰ってきたように、ゆっくり自宅にいるような気分でくつろいでいただくように気軽におもてなしをしたいです。

地元の新鮮なおいしいものを食材にし、選手たちの様子を見て、肉か魚のメニューを決めたいと思います。旅行代理店から「お米は秋田こまちを」と依頼されていますが、契約栽培している希少なササニシキもぜひ食べていただきたいですね。

(取材：本間)



大会旗・炬火
リレーは
9月2日(日) だよ

秋田わか杉国体にかほ市実行委員会

TEL 43-7504 FAX 43-5707

E-mail : kokutai@city.nikaho.lg.jp

にかほ市国体ホームページ

<http://hyper.city.nikaho.akita.jp/kokutai/>

山形屋旅館（象潟町字家ノ後）

皆さんにゆっくりくつろいでもらうよう心がけ、洗濯機や乾燥機などを、いつも自由に使ってもらっています。家庭的でお客様がわがままを言えるような雰囲気をつくることに気を付けています。

国体では、刺身などの生ものを出せないのがとても残念ですが、地物の魚を中心に、旬のものをお出ししているので「磯の香りがするね！」とお客様にも喜ばれています。お米もJAさんに新米が出たらすぐにと、お願ひしています。海が近いので、夕陽を見てからの食事は最高ですよ！

(取材メモ) ご主人の協力が大きいそうで、日中は床屋さん、夕方は板前さん、夜は食べ歩き？で料理の研究なんだそうです。家族みんなでお客様をおもてなしする雰囲気が伝わってきました。

(取材撮影：佐藤)



山形屋旅館
女将の村上孝子さん

秋田わか杉国体

まであと45日



佐藤旅館
女将の佐藤恵子さん(中央)と従業員の皆さん